

第4回磁気共鳴(MR)専門技術者認定試験のご案内

日本磁気共鳴専門技術者認定機構

現在124名の方が磁気共鳴(MR)専門技術者として認定され、高度先進医療や撮像技術の標準化に大いにその技量を発揮していただいています。認定研究会も35になり、この制度が徐々に浸透してきているように思います。第4回認定試験を下記の要項で開催することが決まりましたのでご案内いたします。「最新の医療技術に対応した最善の画像情報を標準的に提供し、安全を担保することで国民の福祉と社会の発展に寄与する」ことを目的とした認定制度で、MR撮像技術の標準的なレベルアップに必要な制度だと考えています。

なお、本磁気共鳴(MR)専門技術者の認定は、MRに関連する学術7団体(日本磁気共鳴医学会、日本医学放射線学会、放射線専門医会・医会、日本放射線技師会、日本放射線技術学会、日本臨床衛生検査技師会、日本医用画像システム工業会)から構成される日本磁気共鳴専門技術者認定機構が行ないます。

記

試験期日：2009年(平成21年)3月1日(日)10:00-15:00

試験会場：神戸大学病院 JR三ノ宮駅乗換え市営地下鉄大倉山下車徒歩5分 or 1JR神戸駅徒歩15分

試験プログラム 10:10-11:00 筆記試験(1)基礎物理、撮像技術、応用技術、読影技術

11:10-12:00 安全管理講習会(1)静磁場、変動磁場、RF波の人体への影響

13:00-13:50 安全管理講習会(2)MR装置の安全性とその対策

14:00-14:50 筆記試験(2)保守管理、安全性、アーチファクト、解剖

認定試験申請資格

- (1) 構成団体への在籍：構成7団体のいずれかに在籍して2年以上を経過した者。
- (2) MR操作経験：経験年数については不問
- (3) 学術成果：MRに関する学術研究発表(部会以上の学会)を3回以上、もしくは学会誌への論文1編以上を有すること。(日本学術会議に登録された他学会や世界的に認められた学会での発表・論文でも可)
ただし(社)日本放射線技師会の会員については、アドバンス資格およびMRI検定技能検定3級の両方を有していれば同等とみなす
- (4) 装置の精度管理：機構が提示した装置の精度管理に関する性能評価を行った測定データを提出する(提出項目は、<http://JMRTS.umin.ne.jp>で確認して下さい)
- (5) 施設の安全管理：被検者ならびにスタッフのための施設が備えている安全管理マニュアルを提出する(これを機に施設の安全管理マニュアルを作成していただければ結構です)
- (6) 安全管理講習会：認定試験を受けようとする者は、本機構が主催する安全管理講習会を受講しなければならない。(3月1日の安全管理講習会を受講してください)
- (7) 一度受験された方は、上記(4)(5)を免除します。(申請時にその時の受験票を同封してください)

申請方法：別様の認定試験受験申請書に必要事項をもれなく記入し、提出を求められている書類(項目7の申請書類のチェックリストにて確認)を同封して下記まで送付ください。

費用 [初回または過去の申請で書類審査が不受理だった方] 書類審査料：3,000円

[再受験申請の方] 安全管理講習会受講料および認定試験受験料：7,000円

振込先：普通郵便口座番号 00930-0-251624、口座名称：日本磁気共鳴専門技術者認定機構

申請申込先：社団法人日本放射線技術学会事務局 MR専門技術者認定試験係宛

〒600-8107 京都市下京区五条新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階

申請受付期間：2008年11月1日(土) - 12月12日(金) 必着

認定試験受験資格の通知：申請資格の書類審査結果を2009年1月26日-31日の間にお知らせします。

申請書類に不備があった場合には、認定試験を受けていただくことができません。

認定試験の通知：資格審査合格者(再受験の方は免除)に、認定試験の受験案内をします。

初回の方は、安全管理講習会受講料および認定試験受験料：7000円が必要です。

第4回磁気共鳴(MR)専門技術者認定者通知：2009年4月1日予定

磁気共鳴(MR)専門技術者認定料(登録料)：10,000円が必要です。

問合せ先：土井 司(大阪大学医学部附属病院放射線部) E-mail：doitks@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp